

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2914 URL <http://www.jiti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 前田 勇氣

TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,054,254	△12.7	163,727	△20.0	135,133	△10.7	66,068	△4.9
21年3月期第2四半期	3,497,087	—	204,584	—	151,385	—	69,479	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6,896.39	6,895.72
21年3月期第2四半期	7,252.53	7,252.21

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,048,662	1,744,664	41.3	174,537.60
21年3月期	3,879,803	1,624,288	40.0	162,087.74

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,672,087百万円 21年3月期 1,552,813百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,600.00	—	2,800.00	5,400.00
22年3月期	—	2,800.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2,800.00	5,600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,090,000	△10.9	272,000	△25.2	235,000	△23.6	108,000	△12.5	11,273.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、8ページ「4. その他 (2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 10,000,000株 21年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 419,903株 21年3月期 419,920株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 9,580,084株 21年3月期第2四半期 9,580,080株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、8ページ及び「2010年3月期第2四半期決算短信添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 全般的概況

## 当第2四半期(2009年4月1日～2009年9月30日)の業績

当第2四半期における世界経済は、アジアを中心に持ち直しの動きが見られたものの、米国及び当社グループの主要市場のある欧州では金融危機と実体経済悪化の悪循環により、引き続き深刻な状況となりました。わが国の経済につきましては、個人消費や生産に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の減少や雇用情勢の悪化等厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、2009年4月に策定した中期経営計画「JT-11」のもと、将来に亘る持続的な成長を可能とするために、将来に向けた投資と不断の業務改善の実践に取り組んでおります。

なお、海外たばこ事業に区分した連結子会社の第2四半期の決算日は6月30日であり、1月1日から6月30日までの業績を第2四半期の業績としております。

## 売上高

国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外たばこ事業における為替のマイナス影響等により、売上高は前年同期比4,428億円減収の3兆542億円(前年同期比12.7%減)となりました。

	2009年3月期 第2四半期 (億円)	2010年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	34,970	30,542	△4,428	△12.7
国内たばこ事業	16,623	15,757	△866	△5.2
海外たばこ事業	15,641	12,457	△3,184	△20.4
医薬事業	268	221	△46	△17.5
食品事業	2,334	2,008	△326	△14.0
その他事業	102	98	△4	△4.0

※ 外部売上高で表示しております。

## 営業利益

国内たばこ事業における一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少があったものの、売上高の減少を受け、営業利益は前年同期比408億円減益の1,637億円(前年同期比20.0%減)となりました。

	2009年3月期 第2四半期 (億円)	2010年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	2,045	1,637	△408	△20.0
国内たばこ事業	1,056	1,108	52	5.0
海外たばこ事業	1,001	598	△402	△40.2
医薬事業	△15	△68	△52	—
食品事業	△56	△56	0	—
その他事業	50	55	4	7.9
消去又は全社	9	0		

## 経常利益

海外たばこ事業において、事業運営上行っている為替ヘッジ活動による為替差損を計上したものの、前年同期に計上していた連結子会社における負債の期末評価に係る為替差損が減少したこと及び支払利息の減少により、営業外損益は改善しました。しかしながら、経常利益は営業利益までの減少を受けて、前年同期比 162 億円減益の 1,351 億円（前年同期比 10.7%減）となりました。

## 四半期純利益

固定資産売却益の減少があったものの、前年同期に計上していた廃止社宅等の取り壊し撤去費用を含む関連損失及び成人識別自販機導入費用が無くなったこと等から特別損益は改善しました。しかしながら、四半期純利益は経常利益までの減少を受けて、前年同期比 34 億円減益の 660 億円（前年同期比 4.9%減）となりました。

## ②事業別の概況

### 〔国内たばこ事業〕

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少、競合他社との競争激化により、事業環境は一層厳しさを増しております。当社といたしましては、競合他社との競争優位性の確保に向け、強靱なブランド・ポートフォリオの構築に努めるとともに、お客様満足度の最大化に向けた付加価値・品質の更なる向上、コスト効率性の高い事業運営体制の構築につきましても、不断の取り組みを行っております。

当第 2 四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリー、セブンスター・ファミリーを中心に既存ブランドの育成や新製品投入に注力し、ブランド価値の向上に努めました。具体的には、「マイルドセブン・100's・ボックス」、「マイルドセブン・ライト・100's・ボックス」、「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」を全国発売し、地域限定で販売していた「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」を全国拡販しております。

また、「ウィンストン・ライト・ボックス」を 2009 年 10 月より全国発売しております。

当第 2 四半期における紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少に加え、成人識別自動販売機の導入に際して、前年同期は、コンビニエンスストア等において在庫の積み増しがあったこと等により、前年同期に対し 43 億本減少し、786 億本（注）（前年同期比 5.2%減）となりました。また、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、シェアは 65.0%（前年同期比 0.1 ポイント増）、千本当税抜売上高は 4,055 円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比 866 億円減収の 1 兆 5,757 億円（前年同期比 5.2%減）となりました。営業利益は、売上高の減少があったものの、一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少等により、前年同期比 52 億円増益の 1,108 億円（前年同期比 5.0%増）となりました。

（注）国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第 2 四半期における販売数量 18 億本があります。

### 〔海外たばこ事業〕

海外たばこ事業につきましては、当社グループの利益成長の牽引役としての役割を果たし続けるべく、GFB（注 1）への資源集中、単価の改善によるマージン率の向上等、トップライン成長の機会を積極的に追求しております。

当第 2 四半期における GFB の販売数量は、「ウィンストン」がトルコ、イタリア、フランスで、「キャメル」がイタリアで、「マイルドセブン」が韓国で順調に伸張したことにより、前年同期に対し 22 億本増加し、1,213 億本（前年同期比 1.8%増）となりました。しかしながら、フィリピンにおいてライセンス契約から製造委託へ切り替えたことに伴う影響、イランにおける不安定な事業環境の影響等により、GFB を含む紙巻たばこの販売数量は、前年同期に対し 19 億本減少し、2,161 億本（注 2）（前年同期比 0.9%減）となりました。

また、前年同期比で主要市場の現地通貨が、海外たばこ事業の決算を連結する子会社に

において使用する米国ドルに対して下落し、更に、邦貨換算時に円高の影響を受けたことから、売上高は、前年同期比 3,184 億円減収の 1兆 2,457 億円（前年同期比 20.4%減）、営業利益は、葉たばこ価格の上昇を受けた製造コストの増等により、前年同期比 402 億円減益の 598 億円（前年同期比 40.2%減）となりました。

(注1) ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウinston」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソプラニー」「グラマー」の 8 ブランドを GFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

(注2) 当期より、海外たばこ事業における紙巻たばこの販売数量には、シガー、パイプ、スヌースの販売数量を含んでおります。当第 2 四半期のシガー、パイプ、スヌースの販売数量は 3 億本です。また、前期まで当該数値に含んでいた、主としてドイツ市場において展開しているプライベートブランドの販売数量は、当期より除外しております。当第 2 四半期のプライベートブランドの販売数量は 23 億本です。

※ 当第 2 四半期の為替レートにつきましては 1 米国ドル=95.59 円、前年同期の為替レートにつきましては、1 米国ドル=104.89 円です。

### 〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力し、引き続き、国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努めております。開発状況としましては、自社開発品 9 品目が臨床試験の段階にあります。

また、早期の事業価値実現に向けた、戦略的な導出入機会の探索及び提携先との連携強化についても取り組んでおります。

子会社鳥居薬品(株)につきましては、「注射用フサン（蛋白分解酵素阻害剤）」の売上高は減少したものの、2009 年 3 月より「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」の販売を開始したことに加え、「ツルバダ配合錠（抗 HIV 薬）」、「セロトーン（制吐剤）」等の売上高が伸張したことから増収となりました。

この結果、鳥居薬品(株)における増収があったものの、前年同期は 2004 年 10 月にロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-705」及び 2005 年 3 月にギリアド・サイエンシズ社に導出した抗 HIV 薬「JTK-303」の開発の進展に伴うマイルストーン収入を計上していたこと等により、売上高は前年同期比 46 億円減収の 221 億円（前年同期比 17.5%減）、営業損失は 68 億円（前年同期は 15 億円の営業損失）となりました。

### 〔食品事業〕

食品事業につきましては、飲料事業、加工食品事業、調味料事業の 3 分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに、将来の成長に向けた事業基盤の更なる強化に努めております。

飲料事業におきましては、基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化や自動販売機オペレーターである子会社(株)ジャパンビバレッジを中心とした販売網の充実に努めており、これらの取り組みを通じた着実な拡大を図るとともに、収益力の強化に向けた取り組みを推進しております。

加工食品事業及び調味料事業におきましては、加ト吉グループにおいて、各バリューチェーン機能の強化を通じた事業量の拡大及び強固な基盤確立に努めております。

この結果、売上高では、チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により、前年同期比 326 億円減収の 2,008 億円（前年同期比 14.0%減）となりました。また、利益面では、2009 年 6 月に子会社(株)グリーンフーズの株式を子会社(株)加ト吉が追加取得したことに伴い発生したのれん償却の影響があったものの、経費削減等の効果により、営業損失は前年同期と同額の 56 億円となりました。

また、(株)加ト吉については、2010 年 1 月より、社名を「テーブルマーク株式会社」に変

更し、事業の更なる発展を目指してまいります。

#### [その他事業]

その他事業につきましては、売上高は前年同期比 4 億円減収の 98 億円（前年同期比 4.0% 減）、営業利益は前年同期比 4 億円増益の 55 億円（前年同期比 7.9%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ 182 億円減少し、1,489 億円となりました（前年同期末残高 1,750 億円）。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第 2 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出はあったものの、海外たばこ事業において葉たばこ価格の上昇及び買付量の増によるたな卸資産の増加があったこと等から、1,051 億円の収入（前年同期は 1,406 億円の収入）となりました。

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第 2 四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、廃止社宅等の売却による収入があったものの、有形固定資産の取得等により、395 億円の支出（前年同期は 285 億円の支出）となりました。

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第 2 四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパー及び社債の発行による収入があったものの、社債の償還及び長期借入金の返済、配当支払金の支払い等による支出に伴い、939 億円の支出（前年同期は 1,354 億円の支出）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

海外たばこ事業において、予想販売数量を240億本下方修正するとともに、邦貨換算レートを2円円高に変更することによるマイナス影響を見込むものの、海外たばこ事業の決算を連結する子会社において使用する米国ドルに対して主要市場の現地通貨が強めに推移していることを踏まえた前提為替レートの変更により、売上高については900億円上方修正し、営業利益については280億円上方修正いたします。

経常利益につきましては、海外たばこ事業において、為替の動向を踏まえヘッジ活動に伴う為替差損を今回の予想に織り込むことから、上方修正額を80億円といたします。当期純利益につきましても上方修正額を80億円といたします。

2010年3月期の連結業績予想につきましては、以下のとおりです。

	前回予想 (2009年4月30日公表)	今回予想	前回予想比増減
売上高	60,000億円	60,900億円	900億円
営業利益	2,440億円	2,720億円	280億円
経常利益	2,270億円	2,350億円	80億円
当期純利益	1,000億円	1,080億円	80億円

#### ※主な前提条件

##### 国内たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	1,525億本	1,525億本

##### 海外たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	4,560億本	4,320億本
為替レート(1米国ドル)	95.00円	93.00円

(注) 前回予想時に前提としたその他の為替レートにつきましては、1米国ドルにつき、36.00ループル、0.73英ポンド、0.81ユーロとしておりました。今回予想時においては、1米国ドルにつき、32.25ループル、0.65英ポンド、0.73ユーロとしております。

(注) 上記の業績予想の各数値は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいて算定しております。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いて算定したものです。将来の予想に本質的に内在する不確実性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性等に照らし、現実の業績の数値は、上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想のご利用にあたっては、「将来に関する記述等についてのご注意」も併せてご参照ください。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2010年3月期 第2四半期決算短信添付資料」に記載しております。

#### (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (2009年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	146,408	164,957
受取手形及び売掛金	331,022	290,068
有価証券	12,707	4,910
商品及び製品	145,777	122,970
半製品	99,445	119,290
仕掛品	7,571	6,561
原材料及び貯蔵品	276,508	215,334
その他	208,566	174,751
貸倒引当金	△3,248	△3,162
流動資産合計	1,224,760	1,095,682
固定資産		
有形固定資産	668,665	668,742
無形固定資産		
のれん	1,480,329	1,453,961
商標権	383,721	347,372
その他	30,121	30,509
無形固定資産合計	1,894,173	1,831,843
投資その他の資産		
投資有価証券	92,485	90,230
その他	210,408	234,999
貸倒引当金	△41,829	△41,695
投資その他の資産合計	261,063	283,534
固定資産合計	2,823,901	2,784,121
資産合計	4,048,662	3,879,803
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,700	158,544
短期借入金	136,558	113,231
コマーシャル・ペーパー	114,000	—
1年内償還予定の社債	50,837	190,363
1年内返済予定の長期借入金	25,326	26,380
未払たばこ税	214,787	172,986
未払たばこ特別税	10,432	10,470
未払地方たばこ税	86,158	85,541
未払法人税等	60,390	51,777
引当金	38,029	39,172
その他	233,765	244,936
流動負債合計	1,131,984	1,093,403

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (2009年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	415,741	349,794
長期借入金	246,769	299,563
退職給付引当金	260,041	259,145
その他の引当金	614	1,318
その他	248,846	252,289
<b>固定負債合計</b>	<b>1,172,012</b>	<b>1,162,111</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,303,997</b>	<b>2,255,514</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,406	736,400
利益剰余金	1,264,232	1,224,989
自己株式	△74,575	△74,578
<b>株主資本合計</b>	<b>2,026,064</b>	<b>1,986,810</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	10,581	8,437
繰延ヘッジ損益	12	92
海外連結子会社の年金債務調整額	△19,451	△18,965
為替換算調整勘定	△345,119	△423,561
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△353,977</b>	<b>△433,997</b>
新株予約権	394	364
少数株主持分	72,183	71,109
<b>純資産合計</b>	<b>1,744,664</b>	<b>1,624,288</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,048,662</b>	<b>3,879,803</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	3,497,087	3,054,254
売上原価	2,846,037	2,494,239
売上総利益	651,049	560,015
販売費及び一般管理費	446,464	396,287
営業利益	204,584	163,727
営業外収益		
受取利息	4,391	2,543
受取配当金	1,620	1,368
その他	5,438	3,811
営業外収益合計	11,450	7,722
営業外費用		
支払利息	25,278	15,437
為替差損	33,584	14,107
たばこ災害援助金	719	802
その他	5,067	5,970
営業外費用合計	64,649	36,317
経常利益	151,385	135,133
特別利益		
固定資産売却益	21,624	10,727
貸倒引当金戻入額	—	2,952
その他	1,321	777
特別利益合計	22,946	14,457
特別損失		
固定資産売却損	424	2,682
固定資産除却損	6,666	2,159
減損損失	11,537	1,418
成人識別自販機導入費用	11,060	—
その他	5,885	5,898
特別損失合計	35,574	12,158
税金等調整前四半期純利益	138,757	137,432
法人税等	66,596	68,147
少数株主利益	2,681	3,216
四半期純利益	69,479	66,068

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	138,757	137,432
減価償却費	87,449	65,992
減損損失	11,537	1,418
固定資産除売却損益(△は益)	△19,901	△6,792
のれん償却額	53,260	49,590
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,111	△1,370
受取利息及び受取配当金	△6,011	△3,911
支払利息	25,278	15,437
売上債権の増減額(△は増加)	△44,438	△25,454
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,869	△61,797
仕入債務の増減額(△は減少)	2,836	△553
未払金の増減額(△は減少)	△13,842	△12,236
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	63,486	26,128
その他	△36,750	△245
小計	239,680	183,635
利息及び配当金の受取額	8,021	5,174
利息の支払額	△33,846	△22,596
法人税等の支払額	△73,212	△61,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,643	105,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,022	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,806	1,903
有形固定資産の取得による支出	△44,618	△50,753
有形固定資産の売却による収入	24,593	17,158
無形固定資産の取得による支出	△3,456	△3,130
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,348	1,503
子会社株式の取得による支出	△7,645	△980
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,060	△354
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△14	—
その他	2,469	△4,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,598	△39,578

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△87,436	134,990
長期借入れによる収入	405	1,615
長期借入金の返済による支出	△20,428	△105,630
社債の発行による収入	—	99,804
社債の償還による支出	△192	△192,151
配当金の支払額	△24,832	△26,818
少数株主への配当金の支払額	△2,473	△2,664
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△3,058
その他	△465	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△135,423</b>	<b>△93,914</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,572	10,015
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,950	△18,298
現金及び現金同等物の期首残高	215,008	167,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,057	148,959

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間 (2008年4月1日から2008年9月30日まで)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	1,662,396	1,564,149	26,808	233,473	10,259	3,497,087	—	3,497,087
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	24,114	20,355	—	77	6,626	51,174	(51,174)	—
計	1,686,510	1,584,504	26,808	233,551	16,885	3,548,261	(51,174)	3,497,087
営業利益又は営業損失 (△)	105,600	100,115	△1,589	△5,617	5,097	203,607	977	204,584

当第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から2009年9月30日まで)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	1,575,709	1,245,728	22,120	200,845	9,851	3,054,254	—	3,054,254
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,495	18,415	—	98	5,315	53,325	(53,325)	—
計	1,605,205	1,264,143	22,120	200,943	15,167	3,107,579	(53,325)	3,054,254
営業利益又は営業損失 (△)	110,840	59,857	△6,813	△5,660	5,501	163,725	1	163,727

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品 (商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ (国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりであります。

減価償却費 (有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
前第2四半期 連結累計期間	39,429	37,295	1,804	3,908	5,329	87,766	(316)	87,449
当第2四半期 連結累計期間	27,500	27,128	1,892	8,258	1,164	65,944	47	65,992

のれん償却額

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第2四半期 連結累計期間	544	47,541	—	5,197	—	53,282
当第2四半期 連結累計期間	544	43,254	—	5,807	—	49,606

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりであります。

（前第2四半期連結累計期間） 591,981 百万円

（当第2四半期連結累計期間） 560,938 百万円

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2008年1月1日から2008年6月30日までを前第2四半期連結累計期間に計上しており、また2009年1月1日から2009年6月30日までを当第2四半期連結累計期間に計上しております。

6. 会計処理の方法の変更

（前第2四半期連結累計期間）

連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」

（実務対応報告第18号 2006年5月17日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、「海外たばこ」で47,541百万円減少しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。